

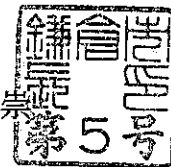
鎌総第1270号

令和7年(2025年)8月4日

鎌倉市議会議長

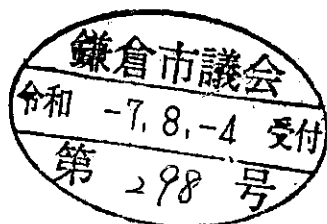
中澤 克之 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242・2243)

議会受付番号	文書質問第9号
質問者	重黒木議員
答弁する者	市長 (消防本部消防総務課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第9号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

- (1) 市内消防署において、建物や設備の老朽化が著しい施設が存在するが、現時点で市が把握している老朽化の状況と評価について伺います。
- (2) 当該施設について、耐震性・安全性・職員の執務環境・緊急出動体制の観点から問題があると認識しているか、また、その場合の対応方針を伺います。
- (3) 鎌倉消防署に関しては、市の公式ホームページ「消防施設再編（鎌倉地域）について」（ページ番号 36810）において建て替えが検討されていると承知していますが、整備着手まで相当の時間を要する見込みである中、それまでの間の応急的・暫定的な修繕や改善を行う考えがあるか伺います。
- (4) 特に、職員が長時間滞在する休憩室におけるプライバシーの欠如や、浴室のカビの発生等、衛生面や健康面にかかわる劣悪な環境について、市はどのように認識しており、早急な対処の必要性についてどのように考えているか伺います。
- (5) 災害対応の拠点として重要な役割を担う消防署において、市として優先的かつ段階的に改善を進める考えがあるか伺います。

2 質問の理由

市内の消防署を視察した際、施設の老朽化が深刻な状態にあることを確認しました。特に、職員が仮眠・休憩をとるスペースではプライバシーの確保が不十分であり、浴室にはカビが発生するなど、衛生環境や労働環境として看過できない状況にありました。

鎌倉消防署に関しては、市の公式ホームページ「消防施設再編（鎌倉地域）について」（ページ番号 36810）において建て替えの方向性が示されているものの、実際の整備に至るまでには長期間を要することが見込まれています。その間、現状のまま放置すれば、職員の健康や士気、市民の安全確保にも支障をきたすおそれがあります。

消防署は、市民の生命と財産を守る最前線であり、日常的に職員が詰めている重要施設であることから、建て替えの有無にかかわらず、現状の環境改善を早急に講じるべきと考え、一般的観点から市の対応状況と今後の方針について確認するものです。

3 答弁

- (1) 市内の消防庁舎は、竣工から 40 年以上経過した建物が複数存在し、竣工から 50 年以上が経過した鎌倉消防署と玉縄出張所は老朽化が顕著です。鎌倉消防署では、塩害による外壁の剥落が特に深刻で、玉縄出張所でも頻繁に雨漏りが発生し、その度に応急的な修繕を行っています。市としては、これらの老朽化した庁舎について状況を把握しており、庁舎の移転及び統合又は建て替えを計画しています。移転等までの間は、費用を抑えつつも必要最低限の維持修繕を行い、安全性と機能性を確保しながら運用しています。

【参考】

- 築 43 年（昭和 57 年竣工）：深沢出張所
- 築 45 年（昭和 55 年竣工）：消防本部・大船消防署
- 築 47 年（昭和 53 年竣工）：浄明寺出張所
- 築 51 年（昭和 49 年竣工）：鎌倉消防署
- 築 52 年（昭和 48 年竣工）：玉縄出張所

- (2) 老朽化が進行中の各消防庁舎ですが、耐震性については基準を満たしています。ただし、鎌倉消防署では外壁の剥落が市民や職員の安全に影響を及ぼすリスクがあり、応急的な外壁修繕を必要に応じて進めている状況です。また、24 時間交代勤務を行っている職員の仮眠室や浴室の改修など執務環境の改善が必要な庁舎があることは認識しているため、移転等までの間は、費用を抑えつつ安全性・職員の執務環境・緊急出動体制の観点から優先度の高い項目から修繕を行い対応する方針です。

- (3) 鎌倉消防署の移転統合計画は、実施までにあと数年を要する見込みですが、その間の暫定的対策として、既に職員の自助努力により最低限度の維持管理を続けています。しかしながら、今後は職員の士気向上と健康、安全のために、より積極的に執務環境の改善に取り組むこととし、限られた資源を通じて費用対効果の高い対応策を検討していきます。このため、応急修繕の必要性や緊急性に鑑み、計画的かつ効率的な修繕を進めてまいります。

- (4) 職員が休憩時間中に使用する仮眠室のプライバシーの不足や浴室でのカビの発生といった衛生・健康面での問題を重要な課題として認識しています。これまでは費用を抑えつつ必要最低限の維持修繕を行ってきましたが、職員の健康や業務効率に悪影響を及ぼす可能性があるため、早急な対応が必要と考えています。職員が安心して職務に専念できる環境を早期に実現するよう尽力し、効果を確認しながら適切な対応を続けていきます。

(5) 災害対応の拠点である消防庁舎は重要な施設であることから老朽化問題と現在の環境条件を踏まえ、優先的かつ段階的に改善を進めていく考えです。